

商店街活性化事業計画の概要

地域

福岡県北九州市

認定日

平成23年3月31日

事業名：鐵の職工さんから支えられた街から、かつての職工を支える街への再生

事業者名： 八幡中央区商店街協同組合（福岡県北九州市）

事業実施期間 平成23年4月1日～平成26年1月31日

■商店街活性化事業の概要

かつては「鐵の街」として多くの職工に支えられ繁栄してきたが、今後は高齢者となった職工を支える商店街としての機能を果たすことで地域に貢献し、活性化に繋げる。健康相談の開催や、買物弱者に対する出張販売、「健康促進」のための産業遺産見学や鉄づくり体験ツアー等を実施する。また、防犯カメラの設置やアーケード改修、コミュニティ広場の設置等で安全安心な街づくりや商店街内の交流促進を進める。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

アンケート調査や地域消費者との座談会の結果では、衣料などの日用品の販売やアーケード改修、防犯カメラの設置に対する要望が多く、また、商店街に交流スペースがないため、特に高齢者を中心に休憩やくつろぎの空間を望む声が高かった。

◆実施計画の主な内容

・商店街テナントミックスと地域の健康を支える商店街事業

①ニーズの高い衣料品ショップや「中央町・種子島物産市」を空き店舗に併設。また、空き店舗を利用し地域の病院や保健所と連携して「健康よろず相談室」を設置し、健康相談事業を実施する。

②高齢者世帯に対する出張販売

地域住民の生活利便性向上のため、青果食料品の出張販売を実施する。

・健康・町歩きと鉄で栄えた町を巡るツアー

健康増進と地域・商店再発見を目的として、商店街店舗、地域の史跡、珍しいモノ巡りを行う「地域再発見ツアー」や、「新日鉄八幡製作所」で行われる伝統的な鉄の製法「たたら製鉄」等を体験するツアー「産業遺産見学と鉄づくり体験ツアー」を商店街主催で実施する。

・歩行者の安全を確保するための防犯カメラ設置事業、アーケード改修工事

・高齢者向けコミュニティ広場設置

商店街で取得した街区内の空き地を利用し、来街者の交流、憩い、ふれあいの場を提供する

・商店街と地域の情報発信

■商店街活性化事業計画の目標

①歩行者通行量：平成22年度を基準に3年間で1%アップさせる（H25年度目標：9,320人）

②町めぐりツアー、産業遺産見学・鉄づくり体験ツアーの参加者数：

平成24年度80人、平成25年度120人

③高齢者健康相談の件数：平成24年度50人、平成25年度100人

【商店街の様子】



【物産市のイメージ】



【地域再発見ツアー】

